



長門市の推進構想

「長門の未来を託す 子どもたちを育てる」

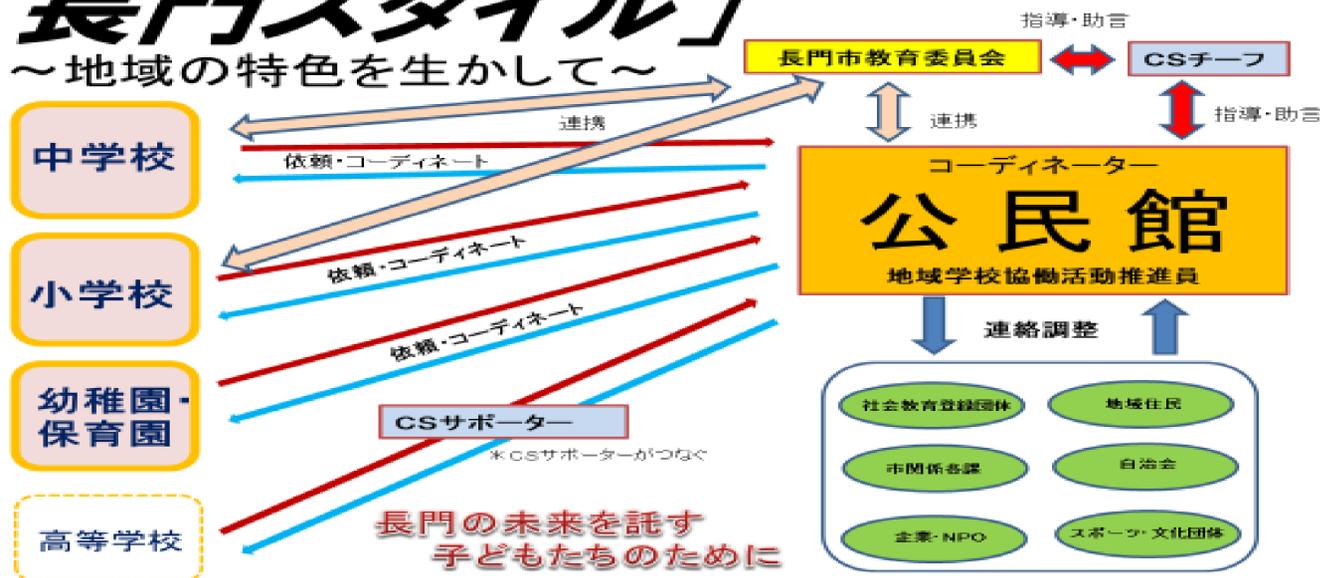
- 1 地域連携教育の成果と課題
 - <成果> 児童生徒を交えた「熟議」を実施したことで、地域と関わることのよさや愛着を感じる子どもの割合が増加した。
 - <課題> 「熟議」をすることが目的とならないように、参加者がビジョンを共有して「熟議」を実施する必要がある。
- 2 課題解決に向けた重点取組事項
 - 目的を明確にした「熟議」を実施し、子どもの思いを生かした活動につなげる。
 - 「学校・地域連携カリキュラム」に基づいた活動を実施し、検証から見えた課題をカリキュラムの再整理に生かす。
- 3 重点取組事項の進捗を測る指標

取組状況を把握するために、下記の項目でアンケート調査を行う。

 - ・ 指標Ⅰ 子どもたちの思いを生かした活動を計画・実施した割合
 - ・ 指標Ⅱ 検証結果を踏まえた「学校・地域連携カリキュラム」の再整理を行った割合
- 4 地域連携教育の推進体制

「長門スタイル」

～地域の特色を生かして～



市立通小学校



保存会の方から指導を受け、通鯨唄の伝承に全校で取り組み、その成果を地域行事等で披露している。

市立仙崎小学校



入学式の翌日から約2週間、地域の方が1年生の朝の支度の手伝いをしてくださっている。

市立深川中学校



会場受付や販売補助等を中学生が行った。生徒会執行部を中心に地域活動に意欲的に取り組んでいる。

市立菱海中学校



生徒総会で、地域の方々とともに「熟議」を行い、学校課題や地域課題の解決に取り組んでいる。